

令和5年度事業報告

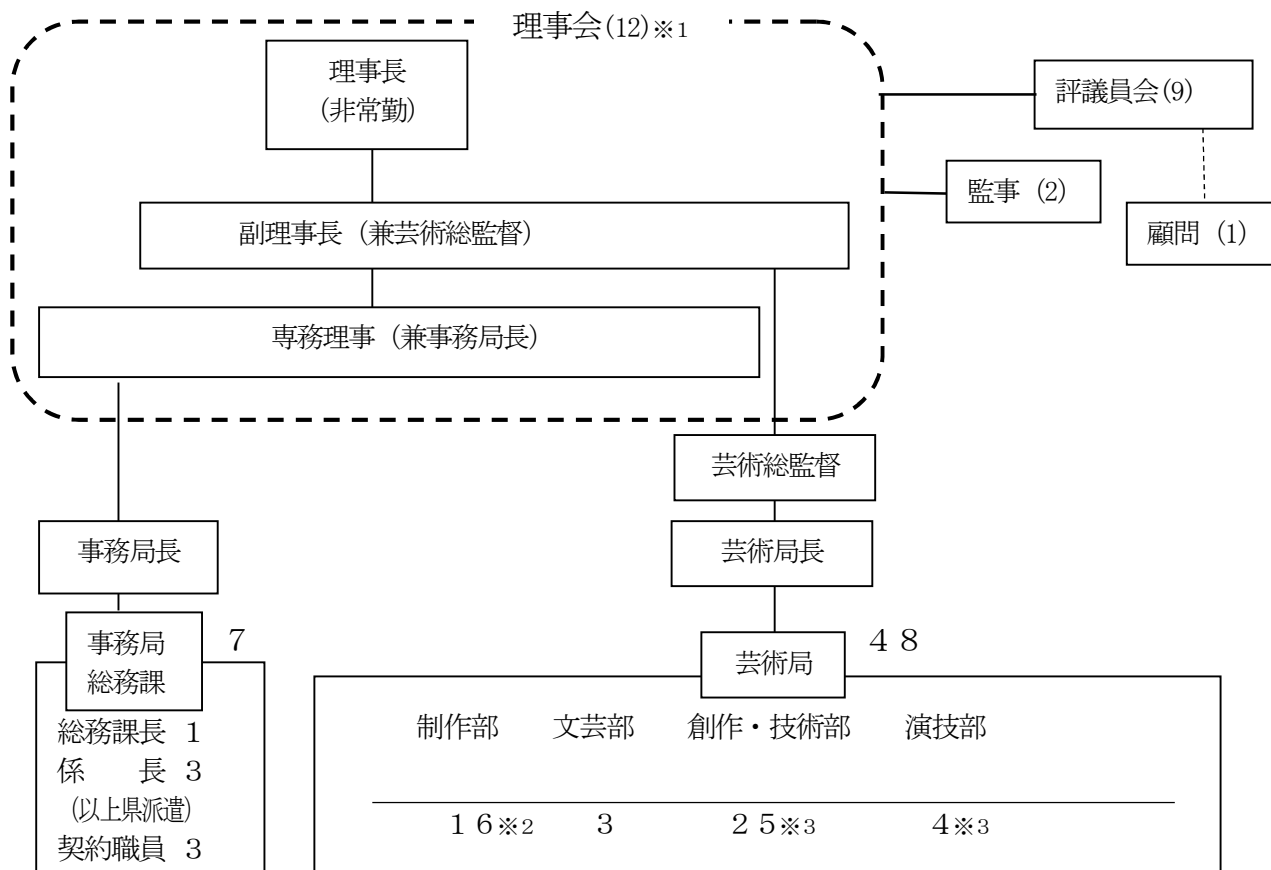
1 事務管理の概要

(1) 理事会等の開催状況

| 開催年月日 | 会議 | 内容 | |
|------------|---------------|--|---|
| 令和5年4月20日 | みなし決議に関する理事会 | ・評議員会の開催 | ・全ての理事から可決を得た。 |
| 令和5年4月27日 | みなし決議に関する評議員会 | ・評議員及び理事の選任 | ・全ての評議員から承認を得た。 |
| 令和5年5月26日 | 第1回理事会 | ・令和4年度事業報告 ・令和4年度決算報告 ・令和5年度事業計画の変更 ・令和5年度定時評議員会の招集 | ・出席者全員が賛成し可決した。 |
| 令和5年6月13日 | 定時評議員会 | ・令和4年度決算報告 ・理事の選任 ・令和5年度事業計画の変更 | ・出席者全員が賛成し、承認を得た。 |
| 令和5年6月21日 | 臨時理事会 | ・理事長、副理事長、専務理事の選定 ・顧問の選任 | ・出席者全員が賛成し可決した。 |
| 令和5年12月18日 | 第2回理事会 | ・令和5年度事業計画の変更 ・令和5年度収支予算の変更 ・SPAC作品出演俳優からの要望への対応 ・令和5年度第2回評議員会の招集 ・宮城副理事長兼芸術総監督との演出契約の締結 | ・出席者全員が賛成し可決した。 ・宮城副理事長兼芸術総監督を除く出席者全員が賛成し可決した。 |
| 令和5年12月28日 | 第2回評議員会 | ・令和5年度事業計画の変更 ・令和5年度収支予算の変更 ・公益財団法人静岡県舞台芸術センター職員給与規程の改正 | ・出席者全員が賛成し承認を得た。 |
| 令和6年3月6日 | 第3回理事会 | ・令和6年度事業計画 ・令和6年度収支予算 ・役員賠償保険の契約締結 ・令和5年度第3回評議員会の招集 ・宮城副理事長兼芸術総監督との演出契約の締結 | ・出席者全員が賛成し可決した。 ・宮城副理事長兼芸術総監督を除く出席者全員が賛成し可決した。 |
| 令和6年3月22日 | 第3回評議員会 | ・令和6年度事業計画 ・令和6年度収支予算 | ・出席者全員が賛成し承認を得た。 |

(2) 組織体制

令和5年度の事務局及び芸術局の組織は、下図のとおりである。(令和6年3月31日現在)



※1 理事、評議員の人数は令和6年3月31日時点の人数による

※2 芸術局長は制作部に再掲

※3 令和6年3月1日現在の創作・技術部、演技部の俳優等の短期契約を含む人数による

(3) 基本財産の状況

運用については、公債又は定期預金による確実な運用に努めた。

(単位：百万円)

| | 7年度 | 8年度 | 9年度 | 10年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 令和元年度 |
|----------------|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|-------|
| 基本財産の 造成・取崩 | 500 | 500 | 400 | 300 | △50 | △80 | △70 | △180 | △100 |

※ 令和6年3月31日現在残高 12億2千万円

(4) 許認可及び登記の状況

| 年月日 | 内容 |
|-----------|------------------------------|
| 令和5年4月27日 | 評議員の就任、理事の就任 |
| 令和5年6月13日 | 理事の重任 |
| 令和5年6月21日 | 代表理事の就任 |
| 令和5年6月19日 | 評議員の辞任・就任の登記、理事の辞任・就任の登記 |
| 令和5年9月1日 | 理事の退任・重任の登記 代表理事の退任・就任の登記 |

2 事業の概要

(1) 基本方針

俳優、専門技術スタッフを擁する本格的な文化事業財団として、舞台芸術の創造と公演活動を行うとともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を図り、もって国内外への積極的な情報発信に努め、静岡県の香り高い文化の創出に寄与する。

(2) 財団の事業

【公益事業】

舞台芸術の創造と公演活動や、優れた舞台芸術の紹介、舞台芸術に関する人材の育成、舞台芸術活動の支援を行うことで、芸術文化の振興を図り、静岡県を『演劇の都』とすることで、世界各国の文化との交流の促進や、優れた特徴ある静岡県の情報を国内外に発信する事業を実施した。特に、令和5年度は県内で行う公演の多くは、東アジア文化都市 2023 静岡県認証事業として実施し、また、SPAC自体が東アジア文化都市 2023 静岡県のアンバサダーとして、県の文化の発信に大きく貢献した。

① 舞台芸術の創造と公演

国内外において、舞台芸術のオリジナル作品等の創造と公演を行うとともに、海外等からの招聘作品の公演を行った。なお、県の東アジア文化都市事業として、中国、韓国から招聘した劇団の公演等上演し、東アジア文化都市の伊豆文学祭と連携して効果を上げた。

ア 県内公演

| 開催日・時期 | 区分 | 演目 | 公演数 | 鑑賞者数 |
|-----------------|---------------------------------------|--|------------|----------------------|
| 4月29日 ～5月7日 | ふじのくにせいかい 演劇祭2023 | 『アインシュタインの夢』 『XXL レオタードとアナスイ の手鏡』 『Dancing Grandmothers』 『パンソリ群唱』 『ハムレット(どうしても!)』 | 10 | 1,869人 |
| 5月2日 ～5月6日 | ふじのくに野外芸 術フェスタ2023 (※) | 『天守物語』静岡公演 | 5 | 2,156人 |
| 5月27日 ～5月28日 | | 『天守物語』浜松公演 | 2 | 589人 |
| 7月19日 | TECH BEAT Shizuoka2023 | 『天守物語』 | 1 | 207人 |
| 10月2日 ～3月10日 | SPAC秋→春の シーズン(中高生 舞台芸術鑑賞事 業) | 『伊豆の踊子』 | 39 (29) | 10,693人 (8,449人) |
| | | 『お艶の恋』 | 10 (7) | 2,004人 (1,415人) |
| | | 『ばらの騎士』 | 30 (23) | 5,995人 (4,579人) |
| 合 計 | | | 97 (59) | 23,513人 (14,443人) |

() は、中学生・高校生舞台芸術鑑賞事業の公演数で内数

(※) は、ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会からの受託事業。また、5月2日の公演は東アジア文化都市事業の春の式典の招待公演としての公演

○前記のうち、県内出張公演

| 開催日 | 演目 | 会場 | 公演数 | 鑑賞者数 |
|-------------------|---------|--------------|----------|-------------------------|
| 5月27日 ～5月28日 | 『天守物語』 | 浜松城公園 | 2 | 589人 (ふじのくに野外芸術フェスタ) |
| 12月14日 ～12月15日 | 『伊豆の踊子』 | 下田市民文化会館 (※) | 3 (2) | 751人 (580人) |
| 12月22日 ～12月23日 | | 修善寺総合会館 | 2 (1) | 709人 (573人) |
| 2月8日 ～2月15日 | | 浜北文化センター (※) | 6 (5) | 2,778人 (2,430人) |
| 2月25日 ～2月29日 | | 沼津市民文化センター | 5 (4) | 2,030人 (1,668人) |
| 合計 | | | | 6,857人 (5,251人) |

() は、中学生・高校生舞台芸術鑑賞事業の公演数で内数

(※) は、「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業」(県委託) との共催

イ 県外出張公演

| 開催日 | 演目 | 会場 | 公演数 | 鑑賞者数 |
|----------------|-----------------------|---------------------|-----|--------|
| 7月1日～2日 | 『みつばち共和国』 | 宮崎県立芸術劇場 | 2 | 139人 |
| 9月8日～9日 | 『お艶の恋』 | 利賀芸術公園内 (富山県南砺市) | 2 | 245人 |
| 10月19日 ～23日 | 『マハーバーラタ～ ナラ王の冒険～』 | 東京芸術祭 (行幸通り特設会場) | 5 | 3,297人 |
| 合計 | | | 8 | 3,681人 |

ウ 海外公演

| 開催日 | 演目 | 会場 | 公演数 | 鑑賞者数 |
|-----------|--------------------------|----------|-----|--------|
| 4月26日 | 『羽衣』 | 全州市 (韓国) | 1 | 2,000人 |
| 6月23日～25日 | 『人形の家』 | 阿那亜 (中国) | 3 | 1,500人 |
| 11月2日 | 『SPAC 俳優の朗読と 津軽三味線演奏』 | 全州市 (韓国) | 1 | 300人 |
| 合計 | | | 5 | 3,800人 |

※全州市の公演は東アジア文化都市記念式典内での公演。

エ その他

(ア) リーディング・カフェ

お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中で、SPACのスタッフによる公演作品の解説や、実際に参加者が声を出して台本を読むことにより作品について理解を深めてもらった。

| 開催時期 | 内容 | 回数 | 参加者数 | 開催地 |
|------------------|---------------------|----|------|---------------|
| 11月26日、 1月21日 | 秋→春のシーズン公演等 関連企画 | 2 | 22 | 県内図書館、 公民館 |

(イ) ばらの騎士サロン・連続講座

SPAC秋→春のシーズンの新作『ばらの騎士』のクリエイションの現場を公開し、参加者とともに作品を育てる企画「ばらの騎士サロン」を実施した。

| 開催時期 | 内容 | 回数 | 参加者数 | 会場 |
|-----------------|--------------------------------|-----------|------|-----------------------|
| 9月30日 ～3月10日 | 施設見学、演目に関する講座、 稽古見学、トークショー等 | 18 (※) | 27人 | 静岡芸術劇場、 稽古場、リハーサル室 |

(※) 現地開催以外、演出家による定期配信も実施。

(ウ) おはなし劇場

子育て世代の親子を対象に、絵本の読み聞かせとは違い、俳優の声と音楽でつくる物語の世界を創作し、演劇について理解を深めてもらう企画を県内各地で実施した。

| 開催日 | 内容 | 回数 | 参加者数 | 会場 |
|-----------------------------|----------------------|----|------|----------|
| 6月1日、 6月6日 ～6月8日 | 『きつねのおきゃくさま』 | 4 | 190人 | 三島市内保育園他 |
| 10月8日、 10月15日、 12月16日 | 『しりとりのだいすきな おうさま』 | 3 | 200人 | 県内児童館他 |

(エ) インクルーシブシアター

障害や言葉の壁を越えて楽しむことができる作品を創作・上演し、年齢や障害の有無に関わらず楽しめる観劇機会を提供した。

| 開催日 | 演目 | 回数 | 鑑賞者数 | 会場 |
|--------------------------------|--|----|------|--|
| 7月5日、6日、 14日、18日 22日～24日 | 『ちかくにあるとおく ～鏡の 国のアリスより～』バリアフリ ー公演、ベイベー向け公演 | 9 | 437人 | 静岡芸術劇場 1F ロ ビー、藤枝市立朝 比奈第一小学校、 富士特別支援学校 他 |

(オ) お茶摘み体験

舞台芸術公園の茶畑を開放して、SPACのスタッフも参加してお茶摘み体験を実施した。(令和5年5月6日)

(カ) 各種トークイベント、ワークショップ等の開催

県内各地で、俳優やスタッフ等によるトークイベントやワークショップなどを実施した。

(キ) 劇場外での出張劇場・朗読公演等の実施

自治体や地域団体等からの依頼を受け、県内各地域への出張劇場や朗読公演等を行った。会場では、SPACの活動紹介を合わせて実施した。

| 開催日 | 内容 | 回数 | 鑑賞者数 | 会場 |
|---------------------------|------------|----|------|--------------------------------|
| 7月30日 11月26日 11月28日 | 『猫踊り』 | 3 | 221人 | 函南町立図書館 BOXシアター 御前崎市立図書館 |
| 11月4日 | 『ころべばいいのに』 | 1 | 39人 | 天龍山清心寺 |

| | | | | |
|-------|------------|---|------|----------------|
| 11月7日 | 『犬を連れた奥さん』 | 1 | 150人 | 沼津市民文化センター |
| 2月18日 | 『伊豆の踊子』 | 1 | 95人 | 河津七滝ループ橋 |
| 3月23日 | 『中村岩五郎』 | 1 | 16人 | 清水港船宿記念館 未廣 |
| 合計 | | 7 | 521人 | |

(ク) 「ストレンジシード」の実施

招聘団体に加え公募により選出された団体が、市内各所で演劇やダンス等のパフォーマンスアーツを披露する「ストレンジシード」を実施した。

| 開催期間 | 内容 | 出演団体数 | 鑑賞者数 | 会場 |
|-------------|--------------------|-------|---------|---------------------|
| 5月3日 ～6日 | 演劇やダンス等のパフォーマンスアーツ | 12 | 13,753人 | 駿府城公園内及びその周辺 市街地 |

(ケ) 「私のあしながおじさんプロジェクト for Family 2023」の実施

県内のひとり親家庭支援及び就学援助を受けているご家庭に鑑賞チケットをプレゼントし、「親子で一緒に本格的な演劇作品を鑑賞する」という体験を届けるプロジェクト。各地域の関係団体等の協力の下で実施した。

| 開催日 | 演目 | 鑑賞者数 | 会場 |
|-------------------|---------|-------|------------|
| 10月29日 ～11月19日 | 『伊豆の踊子』 | 8組17名 | 静岡芸術劇場 |
| 12月2日 | 『お艶の恋』 | 1組4名 | 静岡芸術劇場 |
| 12月23日 | 『伊豆の踊子』 | 1組3名 | 修善寺総合会館 |
| 2月10日 | 『伊豆の踊子』 | 3組7名 | 浜北文化センター |
| 2月25日 | 『伊豆の踊子』 | 8組20名 | 沼津市民文化センター |
| 1月8日 ～3月10日 | 『ばらの騎士』 | 6組15名 | 静岡芸術劇場 |

(コ) 「SHIZUOKA ART Gastronomy by SPAC×JUNKO KOSHINO」の実施

SPACの演劇、JUNKO KOSHINO氏のデザイン・パフォーマンス及び日本平ホテルの料理を楽しむ、アート、デザイン、パフォーマンス、食のコラボレーションイベントを開催した。

| 開催日 | 演目 | 会場 | 公演数 | 鑑賞者数 |
|-----------|------|-------------|-----|------|
| 9月24日、25日 | 『刺青』 | 舞台芸術公園「楢円堂」 | 2 | 72人 |

(サ) 「歓喜に至れ！～ベートーヴェン「第九」による～」の実施

東アジア文化都市2023 静岡県クライマックス公演として、台本・演出を宮城芸術総監督が務め、アクターとしてSPAC俳優が出演し、「ダンス×音楽×演劇」が融合した新しい舞台を提供した。

| 開催日 | 演目 | 会場 | 公演数 | 鑑賞者数 |
|-------|--------------------------|------------------|-----|------|
| 12月3日 | 『歓喜に至れ！～ベートーヴェン「第九」による～』 | アクトシティ浜松 中ホール | 1 | 786人 |

② 舞台芸術に関する人材育成

ア SPAC演劇アカデミーの実施

高校生を対象とした1年制の演劇学校。3期生16人の高校生たちに対してSPACの俳優やスタッフ等がきめ細かな指導を行い、演劇を学んだ。具体的には、名作戯曲の上演に向けての稽古や、教養と英語の学習等を行ったほか、成果発表会を実施した。

【成果発表会】

| 開催日 | 演目 | 鑑賞者数 | 会場 |
|-------|---------|------|--------|
| 3月24日 | 『卒塔婆小町』 | 175人 | 静岡芸術劇場 |

イ SPACシアタースクールの実施

夏休み期間中に、県内の中学1年生から高校2年生の生徒たちに、講義や実技、鑑賞を通じて、演劇の魅力をより深く体感してもらうことを目的としてシアタースクールを実施し、最終日にはその成果の発表会を行った。

【成果発表会】

| 開催日 | 演目 | 参加者数 | 会場 |
|-----------|-------------|------|--------|
| 8月19日、20日 | 『グスコブドリの伝記』 | 393人 | 静岡芸術劇場 |

ウ 「スパカンファン・プラス＝SPAC-ENFANTS-PLUS」の実施

フランスを拠点に国際的な活動を展開する振付家・ダンサーのメルラン・ニヤカム氏を迎え、オーディションで選ばれた静岡の中高生とともに新しい舞台を創造するプロジェクトであるスパカンファン・プラスを実施した。

(※SPAC-ENFANTS＝フランス語でスパックの子どもたち)

| 開催日 | 演目 | 参加者数 | 会場 |
|---------|------------------|------|--------|
| 8月5日、6日 | 『Reborn-灰から芽吹く-』 | 332人 | 静岡芸術劇場 |
| 8月20日 | 成果発表会 | 41人 | 稽古場棟1 |

エ 「異才・天才・奇才SPACこども大会」の開催

子どもたちの感性あふれる表現力を育くむとともに、次世代の舞台芸術の担い手を育て応援するため、県内の小学生を対象として、歌唱、舞踊、演奏、その他様々な身体芸などの才能を発揮する「こども大会」を実施した。

| 開催日 | 内容 | 参加者数 | 入場者数 | 会場 |
|-----------|-----------------------|------|------|--------|
| 3月16日、17日 | 歌唱、舞踊、演奏、その他様々な身体芸の発表 | 71人 | 368人 | 静岡芸術劇場 |

オ 「SPACシアターアーツ・ラウンジ」の開講

演劇後に、演劇の感想・批評をはじめ、様々なテーマについて、討議・意見交換を行うアーティストトークを実施した。

| 開催日 | 内容 | 回数 | 参加者数 | 会場 |
|----------------|---------|----|------|--------|
| 10月7日、11月18日 | 「伊豆の踊子」 | 2 | 270人 | 静岡芸術劇場 |
| 12月2日 | 「お艶の恋」 | 1 | 179人 | |
| 1月7日、13日、3月10日 | 「ばらの騎士」 | 3 | 638人 | |
| 合計 | | 6 | 567人 | 1,087人 |

カ バックステージツアーの実施

SPAC創作・技術部を中心に、舞台裏の案内を実施した。

| 開催日 | 内容 | 回数 | 参加者数 | 会場 |
|-----------------------|---------|----|------|--------|
| 10月29日、 11月11日、19日 | 「伊豆の踊子」 | 3 | 103人 | 静岡芸術劇場 |
| 12月9日 | 「お艶の恋」 | 1 | 43人 | |
| 1月8日、14日、 21日 | 「ばらの騎士」 | 3 | 143人 | |
| 合計 | | 7 | 289人 | |

キ 「はじめての演劇鑑賞講座」の実施

上演作品について、より深く理解してもらうため、SPAC俳優による上演作品の解説を行う演劇鑑賞講座を実施した。

| 開催日 | 内容 | 回数 | 参加者数 | 会場 |
|--------|---------|----|------|--------|
| 11月12日 | 「伊豆の踊子」 | 1 | 14人 | 静岡芸術劇場 |
| 12月10日 | 「お艶の恋」 | 1 | 22人 | |
| 合計 | | 2 | 36人 | |

ク 「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業（演劇）」の実施

静岡県からの委託を受け、県内における芸術文化の振興と裾野の拡大を目的とし、子どもたちが多様な文化と出会い、体験する機会を提供するプログラムを実施した。

(ア) 学校訪問プロジェクト

「ひらけ！パフォーミングアーツのとびら」と題し、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校、放課後児童クラブなどをSPACの俳優・スタッフが訪問し、子どもたちが演劇を体験する機会を提供した。

| 開催期間 | 内容 | 施設数 | 参加者数 | 会場 |
|----------------|---|-----|--------|--------------------------|
| 6月8日～ 1月22日 | 朗読講座、ワークショップ、 演劇創作、ダンスプログラム、 出前劇場 等 | 13 | 1,208人 | 沼津市立第五小学校、静岡 県立松崎高校ほか |

(イ) 出張公演（再掲）

地域の公共ホール等で中学校・高校・特別支援学校を対象とした出張公演を行い、遠隔地の子どもたちに本物の演劇に触れる機会を提供した。

| 開催日 | 演目 | 公演数 | 鑑賞者数 | 会場 |
|-------|---------|-----|------|------------|
| 2月8日 | 『伊豆の踊子』 | 1 | 675人 | 浜北文化センター |
| 2月26日 | 『伊豆の踊子』 | 1 | 780人 | 沼津市民文化センター |

ケ 「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業（おやこ小学校）」の実施

静岡県からの委託を受け、芸術に触れる体験機会の少ない小学生及びその保護者を対象とした親子向け講座を実施した。

| 開催日 | 内容 | 回数 | 鑑賞者数 | 会場 |
|-----------|-------------|----|------|-----------|
| 6月4日～18日 | 算数・国語・体育などの | 6 | 219人 | 静岡芸術劇場 |
| 7月1日～9日 | レクチャー、ワークショ | 4 | 154人 | 浜松市科学館 |
| 7月15日～23日 | ップ | 4 | 146人 | 沼津市文化センター |

- コ 「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業（インクルーシブシアター）」の実施（再掲）
静岡県からの委託を受け、障害や言葉の壁を越えて楽しむことができる作品を創作・上演し、年齢や障害の有無に関わらず楽しめる観劇機会を提供した。

| 開催日 | 演目 | 回数 | 鑑賞者数 | 会場 |
|----------|------------------------------------|----|------|-----------------------------|
| 7月5日～18日 | 『ちかくにあるとおく～鏡の国のアリスより～』 バリアフリー公演 | 5 | 320人 | 藤枝市立朝比奈第一小学校、静岡県立中央特別支援学校ほか |

③ 舞台芸術に関する活動の支援

ア 「SPAC県民月間」の実施

県内を中心に、演劇やダンス、音楽等の舞台芸術活動を行っている団体を募集し、舞台芸術公園を使用しての自主的な創造・上演活動を支援した。

| 開催日 | 団体名 | 演目 | 公演数 | 鑑賞者数 | 会場 |
|-----------|-----------|---------------|-----|------|-----------------|
| 8月26日、27日 | K's pro. | 『キャロル 夢からの伝言』 | 2 | 458人 | 舞台芸術公園（野外劇場） |
| 2月24日、25日 | FOX WORKS | 『生きるフリー素材』 | 2 | 36人 | 舞台芸術公園（BOXシアター） |

イ 人材の派遣と技術支援

静岡県や県内市町、県内大学等へ委員・講師などとして派遣した。

| 派遣先 | 内容 |
|----------------------|--------------------------|
| 静岡県 | 「人づくり・学校づくり」実践委員会 委員派遣 |
| 静岡県 | ふじのくに子ども芸術大学実行委員会 委員派遣 |
| 静岡県 | 小・中・高校教員初任者研修 講師派遣 |
| 静岡県/伊豆文学フェスティバル実行委員会 | 伊豆文学フォーラム 出演者（作品朗読）派遣 |
| 静岡県高等学校文化連盟 | 静岡県高等学校演劇研究大会 審査員派遣 |
| 静岡県高等学校文化連盟 | 静岡県西部高等学校演劇協議会生徒講習会 講師派遣 |
| 静岡県高等学校国語教育研究会 | 国語科研究会中部支部研修会 講師派遣 |
| 磐田市 | 磐田子どもミュージカル育成委員会 講師派遣 |
| 沼津市 | 万年青大学公開講座 講師派遣 |
| 静岡大学 | 「演劇文化論」講師派遣 |
| 専修大学 | 演劇ワークショップ講師派遣 |
| 静岡文化芸術大学 | 「芸術表現B」講師派遣 |
| 清水南中学校 | 「表現」授業 講師派遣 |
| 清水南高等学校 | 「探求と表現」講師派遣 |
| 旧高根幼稚園 | 造形教室「こどものじかん」 講師派遣 |

ウ 舞台芸術に関する研究誌の発行

「ふじのくにせかい演劇祭」や「秋→春のシーズン」のテーマ等について、各界の専門家による対談や論考を掲載した研究誌「劇場文化」を発行した。

④ 「ふじのくにせかい演劇祭2023」の開催（再掲）

静岡から世界に向けて演劇の魅力等を発信する国際的な舞台芸術の祭典「ふじのくにせかい演劇祭2023」を開催した。県の東アジア文化都市事業として中国、韓国から招聘した劇団の公演等を開催した。

| | |
|------|----------------------|
| 開催期間 | 令和5年4月29日(土)～5月7日(日) |
| 会場 | 静岡芸術劇場、舞台芸術公園(野外劇場) |
| 作品数 | 5作品 |
| 鑑賞者数 | 1,869人 |

〔作品一覧〕

| 作品 | 演出家・出演団体等 | 公演数 | 会場 |
|----------------------------|--|-----|--------------|
| 『アインシュタインの夢』(中国) | 演出：孟京輝(モン・ジンフイ) 製作：ノース・パーク・シアター 孟京輝戏剧工作室(モン・シアター・スタジオ) | 2 | 静岡芸術劇場 |
| 『XXL レオタードとアナスイの手鏡』(韓国) | 演出：チョン・インチョル 作：パク・チャンギユ 制作：シアター・カンパニー・ドルパグ | 2 | 静岡芸術劇場 |
| 『Dancing Grandmothers』(韓国) | 振付・演出：アン・ウンミ 製作：アン・ウンミ舞踊団、斗山アートセンター | 2 | 静岡芸術劇場 |
| 『パンソリ群唱』(韓国) | 演出・作・音楽監督：パク・インヘ 制作：パンソリ・アジト・ルボックス | 2 | 舞台芸術公園(楢円堂) |
| 『ハムレット(どうしても!)]』(フランス) | テキスト：ウィリアム・シェイクスピアに基づく 翻訳・演出：オリビエ・ピィ 製作：アヴィニオン演劇祭 | 2 | 舞台芸術公園(野外劇場) |
| 合計 | | 10 | |

⑤ 「ふじのくにせせかい演劇祭2024」の開催準備

令和6年度に開催する「ふじのくにせせかい演劇祭2024」の内容検討・広報等の諸準備を行った。

⑥ 「ふじのくに野外芸術フェスタ2023」の開催(再掲)

野外芸術で「ふじのくに」の魅力の発信し、賑わいを創出することにより、国内外からの誘客や交流人口の拡大につなげ、「ふじのくに芸術回廊」の実現を目指す、ふじのくに野外芸術フェスタ2023を実施した。

ア 静岡公演(駿府城公園(静岡市葵区))

| 開催期間 | 演目 | 出演団体等 | 公演数 | 鑑賞者数 |
|-------------|--------|-------------------|-----|--------|
| 5月2日 ～6日 | 『天守物語』 | 演出：宮城聡 出演：SPAC | 5 | 2,156人 |

※5月2日の公演は東アジア文化都市事業の春の式典の招待公演としての公演

イ 浜松公演(浜松城公園(浜松市中央区))

| 開催日 | 演目 | 出演団体等 | 公演数 | 鑑賞者数 |
|---------------|--------|-------------------|-----|------|
| 5月27日、 28日 | 『天守物語』 | 演出：宮城聡 出演：SPAC | 2 | 589人 |

ウ ストレンジシード

| 開催期間 | 内容 | 出演団体数 | 鑑賞者数 | 会場 |
|-------------|--------------------|-------|---------|-----------------|
| 5月3日 ～6日 | 演劇やダンス等のパフォーミングアーツ | 12 | 13,753人 | 駿府城公園内及びその周辺市街地 |

⑦ 舞台芸術公園の管理（県からの指定管理業務）

ア 舞台芸術公園の維持管理業務

| 指定管理業務の内容 | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 施設内警備 | 施設内清掃 | 空調設備保守点検 | 消防設備保守点検 |
| 電機設備保守点検 | 給水設備保守点検 | 汚水処理施設保守点検 | 舞台照明設備保守点検 |
| 舞台音響設備保守点検 | 舞台機構設備保守点検 | 植栽等園地管理 | 公園内施設の各種修繕 |
| 施設内警備 | 施設内清掃 | 空調設備保守点検 | 消防設備保守点検 |

イ 公園利活用の促進

SPACの活動拠点である舞台芸術公園の魅力向上及び舞台芸術への理解醸成を図るため、国内外の舞台芸術の歴史やSPACの歩み等を掲示する演劇ミュージアム「せかいの劇場ミニミュージアムてあとろん」を舞台芸術公園研修交流宿泊A棟内(カチカチ山)に整備し運営した。

(ア) 「てあとろんデー！」の開催

舞台芸術公園と演劇ミュージアム「せかいの劇場ミニミュージアムてあとろん」を県民に楽しんでもらうため、読書会やSPAC俳優のガイドによる園内ツアー等を行うイベント「てあとろんデー！」を実施した。

| 開催日 | 内容 | 回数 | 参加者数 | 会場 |
|--------|-----------------------------------|----|------|--------|
| 4月15日 | 読書会、SPAC俳優による園内ツアー、ワークショップ、カフェ営業等 | 1 | 55人 | 舞台芸術公園 |
| 7月29日 | | 1 | 54人 | |
| 9月30日 | | 1 | 34人 | |
| 11月26日 | | 1 | 87人 | |
| 1月27日 | | 1 | 52人 | |
| 3月30日 | | 1 | 153人 | |

⑧ 賛助会員及びSPACの会

ア 会員の状況（令和6年3月31日現在）

| | | 人数及び団体数 |
|--------|-------------|------------|
| 賛助会員 | 個人 | 11人 |
| | 法人 | 41団体 |
| | 個人特別 | 3人 |
| | 法人特別 | 4団体 |
| SPACの会 | 個人（ゆうゆう） | 340人（197人） |
| | 法人サポーターズクラブ | 12団体 |

【収益事業】

① カフェ・物販事業の実施

舞台芸術への理解や知識を深めるとともに、SPACの活動に親しみを持ってもらうことを目的に、書籍やTシャツ等の販売、カフェの営業等を行った。

② 舞台芸術公園飲料自動販売機設置運用事業の実施

舞台芸術公園の利用者サービスの向上と当法人の収入確保に寄与するため、舞台芸術公園に飲料自動販売機を設置し運用した。